

子どもしんぶん… さん太タイムズ

2019年(令和元年)

7月28日(日)

毎週日曜発行!

発行所

山陽新聞社

岡山市北区柳町2-1-1

岡山シティミュージアム(岡山市北区駅元町)で9月1日まで、こくみん共済coop岡山スペシャル「世界大恐竜展」(同ミュージアム、R SK山陽放送、山陽新聞社主催)が開かれています。肉食恐竜ティラノサウルスや巨大な植物食恐竜ディプロドクスなどの化石や生体復元模型など約90点が並び、迫力満点の姿に圧倒されます。

岡山理科大学生物地球学部で恐竜を研究している「恐竜博士」と会場を巡り、恐竜の不思議に迫りました。

(文・矢根美紀子、写真・中村映一郎) = 2面につづく

恐竜博士が注目!



世界大恐竜展

恐竜博士とめぐるギャラリーツアー

岡山理科大学の恐竜研究者と一緒に会場を巡ります。

- | | | |
|------|---------|--------------------|
| 8月3日 | 千葉謙太郎助教 | 10:30~11:30、13:30~ |
| 10日 | 林昭次講師 | 14:30。参加費無料(展覧会入 |
| 12日 | 石垣忍教授 | 場券は必要)。申し込み不要。 |

- | | |
|-------|----------------------------|
| 開催期間 | 9月1日まで |
| 開館時間 | 10:00~18:00 |
| 休館日 | 7月29日、8月5、19日 |
| 入場料 | 小中高生800円、3歳以上500円、一般1300円 |
| 問い合わせ | 岡山シティミュージアム (086-898-3000) |

巨大! ディプロドクスの謎

7月13日のギャラリースターでガイドを務めたのは、本紙連載「恐竜調査隊が行く」でおなじみの石垣忍・岡山理科大教授です。石垣教授の注目ポイントはどこでしょうか。

しっぽの骨を1個ずつ見よう

病気やけがが多い?!

全長27mの巨大な植物食恐竜ディプロドクス(全身復元骨格)のしっぽをよく見ると、尾の付け根から25番目と26番目の骨=写真下=の形が他と違います。これは骨と骨がくっつく病気の跡です。恐竜のしっぽは、他の恐竜にかまれたり、生活の中で傷ついたりするので、けがや病気が多かったことが化石から分かっています。



好きな食べ物は?

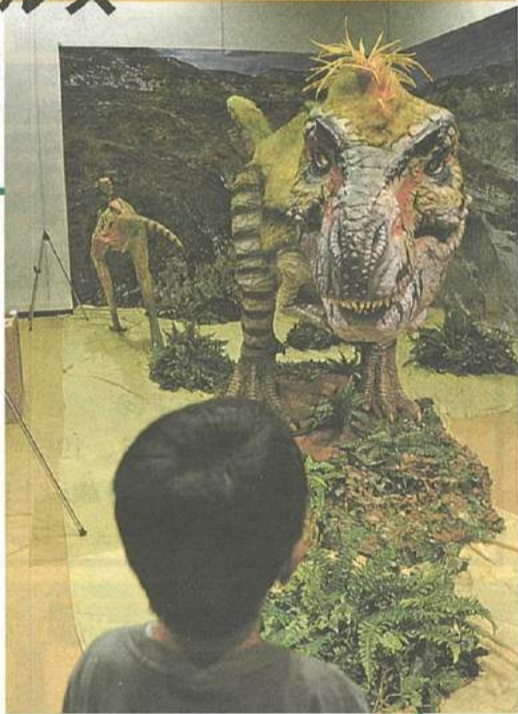
「草」ではなく木の葉っぱ

木の枝の葉っぱをよく食べていたようです。「草」や「果物」は食べていません。なぜなら、ほとんどがイネ科の植物である草や、花を咲かせる植物の実である果物は、恐竜がいた時代にはまだ地球上になかったからです。そのため昔は「草食恐竜」と呼んでいましたが、最近は「植物食恐竜」と呼ぶようになりました。

ティラノサウルス なぜ怖い?

ティラノサウルス類の肉食恐竜の顔を正面から観察してみましょう。化石でも動くロボットでも、何となくにらまれているみたいです。これは両方の目で獲物を見て、獲物までの距離を知る肉食動物の特徴です。

一方、食べられる側の植物食恐竜は、周囲を観察しなければいけないので、目が横に付いて広い範囲を見られるようになっています。



にらめっこで確かめよう

岡山理科大 石垣教授から一言

とても大きな恐竜ですが、陸上にすむ脊椎動物という意味では、私たち人間と同じ。同じ地球にすんでいた「友達」なのです。ぜひ自分の体の構造と比べながら、化石を観察しましょう。「なぜこんなにしっぽが長いのか?」「腕はどうやって動かしていたのかな?」と想像してみると、いろいろな発見がありますよ。



未来の「恐竜博士」、たちと一緒に

ステゴサウルス トゲトゲの役割



体温調節、大きいとモテる!

背中のトゲトゲ(プレート)の化石を調べると、中身はスカスカでもろく、血管がたくさん通っていたことが分かっています。これは「武器」ではなく、太陽の光を浴びて体全体を温かくするなど体温を調節していました。自分を自立させる飾りの役目もしていて、トゲトゲが大きいほどメスにもてたと言われています。ただし、しっぽの先にあるもつととがったトゲトゲはとても硬く、武器だったようです。同時代の肉食恐竜アロサウルスの化石には、トゲトゲが刺さった跡が残っています。